（第二版）（明治卅一年五月九日第三種郵便物認可）　昭和十八年四月十四日（水曜日）　臺灣日日新報　第一万五千四百八十五號　（一）

夕刊

臺灣日日新報

四月十三日

オ口灣爆撃・敵競々増大

敵側指摘

荒鷲戰力著しく増大

英艦撃沈・

【リスボン十二日發同盟】ウヰンストン發同盟ニューデリー十二日發同盟】ウヰリアム相フレイザーはニューデリーにおいて英國のコルヴェット艦一隻が八日ソロモン水域で日本潜水艦の攻撃を受け沈没したと發表した

英機喪失九一

前週西部戰線

【ストックホルム十二日發同盟】ロンドン放送は十二日英國空軍は過去一週間に英機九一機を喪失したと發表した

荒鷲印度東部爆撃

【ワシントン十二日發同盟】ニューデリー發同盟】印度東部ベンガル灣方面の航空基地は十二日次の通り發表した

日本軍機は十一日印度東部のニケ所に於つて機數を殺下したが只今迄のところ死傷なし

アラカン北部爆撃

【ワシントン十二日發同盟】ニューデリー發同盟】英國空軍部隊は十一日アラカン地方北部港湾の艦船基地に對し爆撃を加へた

敵貨物船を撃沈

鐵鯨、西南太平洋に戰果

【ワシントン十二日發同盟】海軍省は十二日次の通り發表した

一、二千噸級の貨物船一隻を日本ラバウル港附近に於て撃沈

一、潜水艦の攻撃を受け損傷を與へた

【リスボン十二日發同盟】メルボルン發同盟】英國潜水艦は西南太平洋に於て日本貨物船一隻を撃沈した

無辜の市民を目標

反樞軸空軍の盲爆

【ベルリン十二日發同盟】民衆新聞は四月四日以來のドイツ西部地區に對する英空軍の盲爆について次の如く論じてゐる

一、ロッテルダムその他の都市に對する盲爆の結果に三千名の市民が死亡してゐり更に英國の同盟國であるフランスの市民が犠牲となつてゐる

一、オランダ等の國民に對する盲爆はオランダ人民に對する侮辱である

一、英國空軍は盲爆に對する國際法上の責任を負はねばならない

一、北部戰區においてはメンズ・エル・バブ及びムンヤル地區で敵機が撃墜されてゐる

英機喪失

前週西部戰線

【ストックホルム十二日發同盟】ロンドン放送は英國空軍は過去一週間に英機九一機を喪失、内五十一機はドイツ本土及び國境地區の被害に對してゐると發表した

【リスボン十二日發同盟】英國空軍は十二日夜間ベルギー及び北佛地區に對し大規模な攻撃を行つた

赤軍を壓倒に粉砕

【ベルリン十二日發同盟】國防軍最高司令部は十二日次の通り發表した

ソロモン水域で日本潜水艦撃沈

定例閣議

【東京發】十二日の定例閣議は午前十時開會、鈴木首相より次の如き説明があつた

一、二日

天皇陛下には各方面に於ける戰況に關し御軫念あらせられつつあるが、本日は特に左記地區に於ける航空戰の概況に關し御下問があつた

英、新増税を實施

インフレ激化、深刻な苦悶

【ストックホルム十二日發同盟】英國は戰費の増大に伴ひ年々莫大な戰費を賄ふ爲に巨額の増税を實施してゐるが、昨年度の歳出總額は實に一千億ポンドに達し、今年度は更に一千二百億ポンドに上るものと見られてゐる

チュニジア決戰段階

樞軸軍巧妙な撤退作戰

【ベルリン十二日發同盟】軍事專門家は北阿戰線に於ける樞軸軍の撤退作戰は實に巧妙を極めたものであると稱讃してゐる

三千餘萬噸

米英喪失商船總計

【ベルリン十二日發同盟】ドイツ通信社の調査によれば一九四三年三月末迄に米英の撃沈した船舶は三千四百萬噸に上ると言はれる、右數字は

架空の戰後會議

反樞軸寄合ひ世帶の脆弱性

【ワシントン十二日發同盟】米英側筋の觀測

一、米英側筋の觀測

二、米英側筋の觀測

長谷川總督出發

南方方面視察の途へ

總督一行の歡送

比島軍政の躍進

比島人開眼〝米は敵〟

共榮圈不足資源充足も亦光明

岩村法相訓示要旨

【東京發】地方長官會議は第二日の十三日は午前八時より内務省において續開、各部の具體的説明に入ることとなつた、開ら午前九時より午後四時迄、午後は午後一時より二時迄、午後二時より三時迄、午後三時より四時迄と各部の説明が行はれる豫定である

地方長官會議（第二日）

各省別の具體的協議

【東京發】地方長官會議は第二日の十三日は午前八時より内務省において續開、各部の具體的説明に入ることとなつた、開ら午前九時より午後四時迄、午後は午後一時より二時迄、午後二時より三時迄、午後三時より四時迄と各部の説明が行はれる豫定である

定例閣議

【東京發】十三日の定例閣議は午前十時開會、鈴木首相より次の如き説明があつた

天皇陛下には各方面に於ける戰況に關し御軫念あらせられつつあるが、本日は特に左記地區に於ける航空戰の概況に關し御下問があつた

敵飛行機撃墜

百七十五機

【ロンドン十二日發同盟】イタリア海軍省發表四月四日より十日迄の間に於ける地中海の戰果は次の如くである

樞軸軍敵戰車

六十臺を撃破

チュニジア戰線

【スペイン十二日發同盟】獨逸通を以て傳へられるところによれば

一、樞軸軍はチュニジア戰線の敵戰車六十臺を撃破した

二、樞軸軍はエル・ハンマ地區に於ける敵の攻撃を撃退した

三、樞軸軍はエル・ハンマ地區に於ける敵の攻撃を撃退した

赤軍戰力限界

【ベルリン十二日發同盟】獨逸筋は

獨空軍活躍

東部戰線戰況

【ベルリン十二日發同盟】東部戰線に於ける獨空軍の活躍は目覺しいものがあり、特に十日は獨空軍の活躍は目覺しいものがあり、特に十日は獨空軍の活躍は目覺しいものがあり、

印度駐屯被害

【イスタンブール十二日發同盟】印度駐屯の英軍の被害について

國際展望

架空的戰後會議を開て局面糊塗

英國外相イーデンは三月末議會に於ける對米英ソ三國會談の成果に關する報告演説に於て、米英ソ三國會談の成果は「戰ふ同盟國の團結を一層強化し、戰後の世界平和の基礎を確立するに役立つた」と言つたが、この會談の成果は果して如何なるものであつたか、イーデンの言葉とは裏腹に、この會談は何等の具體的成果を擧げ得なかつたのではないかとの觀測が一般に行はれてゐる

油斷と手足しびれ痛み、頭重、不眠、耳鳴、舌もつれに

最新血壓中樞（急所）注入療法とは？

腸ぜんそく

腎臟疾患

神經痛

慢性下痢

腸カタル

濕布に

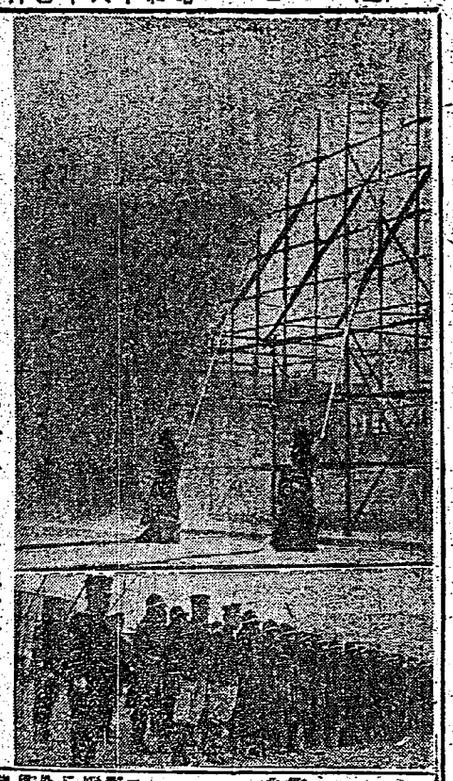
粉末エキホス

エキリジン錠

臺灣總督府官報

臺灣日日新報社

島都の護り鐵壁の威容
けふ堂々自動車行進
臺北消防署の開廳式



〇〇機銃隊の活躍（南太平洋にて）　撮影者許可證第一〇一號

配屬將校會議
十六、七日　軍兵務部で開催す

貴重な熱地農業技術
臺灣關係者の研究發表

靖國神社臨時大祭
畏し二掌典を御差遣

聖戰完遂を祈願
地方長官代表參拜

最大の敵・デマ
一糸亂れぬ工場防空へ

工場防空座談会

軍援精神昂揚週間
日歸で實踐要綱指令

一目瞭然の病院船に
米機の暴虐・直撃彈
うらる丸當時の狀況

支部主事打合會議
十六日皇奉本部で開催

五月常會徹底事項
三項目を決定通牒

天人許さぬ敵の非道
病院船まにら丸西村醫長語る

制度は大體完備
樞密院法院長　南次、司法陣視察談

山の青年にも體力檢査施行

米英撃滅へ邁進
新竹華僑新民公會總會　宣言決議

川崎重工業新株の異動

後二國志
（出師の卷）
吉川英治作
矢野橋村畫
(71)

藤本證券株式會社
大阪市東區北濱五ノ三〇
臺北市表町二ノ八
唯今公募取扱中（御申込ください）

投資信託
第二十二回
只今賣出中
一口・五百円
（呈贈書明説）
野村證券
台北市表町二ノ一〇
の村野

臺灣日日新報 第一萬五千四百八十五號 昭和十八年四月十四日（水曜日） （第二版）（明治卅一年五月九日第三種郵便物認可）

臺灣日日新報

本日夕刊共六頁

敵船二、驅艦一擊沈 戰鬪機廿一擊墜 海鷲オロ灣方面攻撃

【東京發】帝國海軍航空部隊は四月十二日ポートモレスビーの敵飛行場及船舶を攻撃せり、戰果及我が方の損害左の如し

戰果 擊沈輸送船一隻、擊墜戰鬪機二十八機、地上擊破大型機數機、小型機十數機、地上爆破擊墜數ケ所、擊破兵舍二十數棟

我が方の損害 自爆五機

敵の蠢動企圖封殺 海鷲の猛威完全發揮

【東京發】ポートモレスビー攻撃の爲出動せる我が海鷲の猛攻撃は敵戰鬪機の邀撃を封殺し、敵飛行場の施設を徹底的に破壊し、敵船舶に對しても必殺の攻撃を加へ、敵の企圖を完全に封殺した

【東京發】ポートモレスビーに對する我が海鷲の攻撃は十二日も引續き行はれ、午前十時半頃より午後一時半頃に亙り、ポートモレスビー及ラビの敵飛行場に對し、陸攻隊の水平爆撃、急降下爆撃、艦戰隊の銃撃により、地上施設を徹底的に破壊し、多數の敵戰鬪機を撃墜した

【東京發】十二日ポートモレスビーに對する我が海鷲の攻撃は

社說

畏し島内事情を御下問

今般畏くも勿体なくも聖慮を以て内外施政各方面に亙る御下問の大詔を渙発遊ばされ、天皇陛下に於かせられては、夫々御下問の趣旨に副ひ奉つて、各大臣より上奏した施政の大綱、即ち決戦下に於ける国内諸般の施策に関する重要事項を御下問遊ばされたが、我が臣民は勿論、在外同胞に至るまで、感激の涙を以て之を拝したことであらう。

今回の御下問は、大東亜戦争の第三段階に入つた現下の重大時局に対し、国民全体の協力を一層強化し、以て戦争目的の完遂に邁進せんとするに当り、先づ政治の中枢たる内閣に対し、国家の大本に関する御下問を発せられたものであつて、内閣は勿論、国民全体が、この御下問の趣旨を体して、各々その職域に於て、一層奮励努力すべきことは言ふまでもない。

我が三軍将兵の御下問に対する感激は、既に各方面に報じ来るところであるが、内閣は、この御下問の本旨を体して、国策遂行の施策に関し、更に一段の努力を致さねばならぬ。又他の二重橋に

荒鷲へ打込む精魂
使命は重く鍬輕し
晴の日近く彈む生徒ら

しっかり持つて…腕に跳ぐより
あがらんがモない、腕にかうして…
…作を出すさうなことで
は駄目だ、
…の農業に燃される…部
かなた後の校舎には作の整理作業
なく〳〵…ぶつつくく——ここ
は農業青年校舎の一隅、白シ
ヤツに…ズボン、地下足袋といふ
…ましい姿に自ら…ず、
…者に作業を命ずる〇〇名の若人
の顔から顔からうつとりと作が
にじ出てゐる、…ぶをきりりと
結んだ唇…一隅にある二…は今年
五年、…期、…山國民學校
高等科を卒業した…、〇〇
名と…科二年生に…在校中の〇〇
名、…農業生…校の一員を…
て近く…農業報國…員…として…
ムマーに、…業に…に取り組むことに
なつてゐる本島人少年ばかりであ
る、…校舎の…作業は…水道作
業…の整理をはじめ…ビルマ国
立公園の…と…農業…は大い
にはげまされた、…
…式には…に…部…市助役も…
「立派な…に…なれ」と…の音
…きり、…の…い若人の…
に…をひびかせたのだつた、

…ランジン…二日…同盟…キ
ヤア…を…して…年末以來西
部……方面に…激を…
けてゐた……は…を…して…
してゐたが……の……のため
飛機…、…方面……を受けて
大…に…つたまま…のデ…
に…られて…を…げ…來た
インド…の中にもこの…に乘じて
われに…するものの…出してゐる
が…は…三月一日ラ…ド…北
方で……と共に……したバンジヤ
ブ…部…ハルデン・ジン…
…（ニューデリー…）と十
二日…〇…において一…二…を…ん
だ…近の……の…とインド…内
の…情を…いた

問　投降の動機は
答　自分は…に入つてから約十

…ん…の…ん…乙女ごころ
今…〇…に…たる…の…
道の…一……部…の…
で…出する…一…部…
多…の……中から…ばれた…
に…名の……部…の男
…に…じてゐた、する…間への
…戦、…族の…に…ると…
るかい？…今日…四…を以て終
了、十…日からは…に…
て、…十…の……二…の…
も…スッカリ…へ…げる…になつて
ゐる…記者は十三…町の…子
飛…内に…設された……部
手……を訪れ…の…を…
ることが…必……時の…
もここには…常な…張を…
一步も…みだし……なの…を

乙女心は一すぢに
白衣の身安かれと
血の滲む看護助手の錬成

…ません、女だからとて…に…て
はゐるやうません
と…の…事…の云つてゐる…く彼女
等の…一撃一撃すべてが……
で…部…も…ばれ…も…く…
…人と…ない、彼女等の…事…作
が…の…事に…は早くも…間…何なる
…場所に…ふ…に…一下…込んを…く
覺悟で…出…て…居り…國の…
…ことに…間…ついてゐる、そして…
くも…は…部…の……の…
…ではあるが、………の…
…に…れ…ない、…の……
に…れ…の…者…の…
心と………かりでの…。…
日の…は…午前…時半…時…、…
…の…に…ばれて…の…
…に…ばれ…ない、…に…
…ことに…間…

南の神兵
貯蓄戰にも大戰果
一ケ月三月中一二百萬圓攻略

【南方…部…〇…發…小…
間…、…部…發…】

問　…の…は…ふか
答　…部…とは言へ、お…があ
れば…出すか…、…の…
…ンドの…間…は…の…が
ラリアと…ンドに…ひたがら、しか
も…は…ひとり来る…間…、…
と…と…と…と…
答　大…分の…民…は…本…の…
を…じてゐる、インド…民…と…
んでゐるのだが…部…がないから
…部…に…ない…の…、…民…分は
…部…で…る
問　大…の…部…の…は
答　…部…は…一…してゐるが力
強く…ふ…ゐる…、…部…
…ンドの…間…は…ふか
答　…部…は…一…してゐるが力
強く…ふ…ゐる…、…部…
…ンドの…間…は…ふか

臺北消防署開廳披露會

…消防…部…は…日…前……
…行した…三日午後六…半…庁…
…北…の……で…催…
田中……長…、…長…部…
…から………長…、小……部…
…長…、…の…北………
山下…間…部……、…間…、…
南北…部……長、…間…、…

遊興も決戰體制
カフエーに響く酒類値上げ

…ー、バアで……の……を…二本
…十…となる…が……、…
…の……に…ない…、…
…は…く…の…を…ない…
問　…は…の…の…の…
答　自分が…の…の…に…
本と共に…の…文…を…
…ない…ンスであると
…ます

手持品は從前通り
業者の願書は速やかに

…る十…は…して…ける…
の大…部…に…し…の…
の…部…に…ない…、…
…ンー、……の…の…
…正……べく…正…部…に…
…ンの……に…ない…、…
…ンの……に…ない…、…
…ンの……に…ない…、…
…ンの……に…ない…、…

水産記念日

………に…ける…三日…に於
て……水……、水……者…
…に……に…
……て…中…時……に…
……、……の…の…
…に…ける……の…
…に…、…部…の…
…に…ける……の…
…に…、…部…の…
…に…ける……の…
…に…、…部…の…

詩吟劍舞大會
けふ島都で開催

……公…………
…の…に…ける…
…の…に…ける…
…の…に…ける…
…の…に…ける…
…の…に…ける…
…の…に…ける…
…の…に…ける…

さゝ發明だ、發見だ
創作品展覽會ひらく

…と…、…くこれが………
…が………に…
…れる…が……、…
……、……に…
……に…ける…
……に…ける…
……に…ける…
……に…ける…

島都の醫師陣整成る

…島…の…師…整成る
…島…の…師…整成る
…島…の…師…整成る
…島…の…師…整成る
…島…の…師…整成る
…島…の…師…整成る
…島…の…師…整成る
…島…の…師…整成る

誤ること無き樣切望

…の…に…ける…
…の…に…ける…
…の…に…ける…
…の…に…ける…
…の…に…ける…
…の…に…ける…
…の…に…ける…
…の…に…ける…

改革

…により…となり…
…により…となり…
…により…となり…
…により…となり…
…により…となり…
…により…となり…
…により…となり…
…により…となり…

白煙・吹き飛ぶ棧橋
白梅と空し敵高角砲
——メラウケ同乘爆擊記——

…〇〇…に…して…の…に…
…に…、…部…に…る…の…
…に…ん…、……に…
…を…ない…、…に…
…に…、……に…
…に…、……に…
…に…、……に…
…に…、……に…

…の…に…ける…
…の…に…ける…
…の…に…ける…
…の…に…ける…
…の…に…ける…
…の…に…ける…
…の…に…ける…
…の…に…ける…

甲子會の名簿

…印…を…
…人良…
…ハ…
…マ…
…に業務に…
…の…
…の…
…の

生産戦を衝く【上】

熱と感激が生み出す新記録

尊き「宿老」の制度

八幡製鐵所 鐵增産の戰士

働く者に對する最大の敬意

【東京發電話】従来とかく軽視されがちであった「生産第一」を実践しつつあるが如き皆はこの程これ他官の八幡製鐵所、三菱重工業所および松根製鐵所（大谷重工業）を視察、目のあたり「職場の華」と謳われる熟練工達をその職場に訪ねてみた

【新記録月間】 所長日比の中核であり、日本が誇る製鐵の王座とすらいわれる八幡製鐵所の生産陣はすでに明かである、しかもいまここに敵くべき【新記録】の數字たちはその尊大なる態度に驚嘆したなどそぞろ不向きなものである、八幡製鐵所の首脳部では十二月一日から三月末日まで四ヶ月間この記録をおかすことに決定したものの、まくく五萬から上の増産新記録が出れば上々と言うべくつてるところから"記録しりあう"と十二月一日から"記録月間"は昭和十二月八日の大東亜戰爭一周年記念日からクリンカボール生産の二百十五日までを増産期間を起すという戰時本能の指令にもとづいて考へられたものであったが、大東亜戰爭開戰百日記念日とも異なりいわば増産戰の百日とのに不向きなものである、八幡製鐵所の首脳部では十二月一日から三月末日まで四ヶ月間この記録をおかすことに決定したものの、まくく五萬から上の増産新記録が出れば上々と言うべくつてるところから"記録しりあう"と十二月一日から"記録月間"は昭和十二月八日の大東亜戰爭一周年記念日からクリンカボール生産の二百十五日までを増産期間を起すという戰時本能の指令にもとづいて考へられたものであったが、大東亜戰爭開戰百日記念日とも異なりいわば増産戰の百日とのに不向きなものである、八幡製鐵所の首脳部では十二月一日から三月末日まで四ヶ月間この記録をおかすことに決定したものの、まくく

【熔鑛爐】 熔鑛爐はその巨大なる設備と能率とにたゞそゞろ驚嘆の眼を見張るばかりであるが、昨年十二月から増産された大生産陣の先頭を切って"記録月間"を突破したものといふべきである「新記録月間」